平成３０年度第１回 地域連携推進機構運営会議 議事要旨

日　時: 平成３０年４月２０日（金）　１３：００～１５：０５
場　所: 本部管理棟 ２階 第２会議室
出席者: 須加原 一博（議長（機構長）），背戸 博史（地域連携企画室長），遠藤 光男（生涯学習推進部門長），玉城 理（産学官連携部門 准教授），柴田 聡史（生涯学習推進部門 准教授），小島 肇（地域連携企画室 特命准教授），島袋 亮道（地域連携企画室 特命准教授），宮里 大八（地域連携企画室 特命准教授），下地 みさ子（産学官連携部門 特命准教授），空閑 睦子（生涯学習推進部門 特命教員），瀬名波 出（産学官連携部門 教授(併任)），新田 早苗（総合企画戦略部長），金城 徹（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者: 屋 宏典（副機構長 兼 産学官連携部門長），新川 武（産学官連携部門 併任教員）
陪席者: 嘉目 克彦（監事），下地 孝之（課長代理），大城 光雄（企画係長），赤嶺 雅哉（地域連携推進係長），與儀 あゆみ（産学連携推進係長），田頭 明子（地域連携推進係 主任），菅野 達之（企画係員），仲嶺 天展（地域連携推進係員），天願 翔太（産学連携推進係員）

※審議に先立ち，３月２３日開催の平成２９年度第１４回運営会議の議事要旨案について確認があり，了承された。

＜審議事項＞
議長から，次の８つの事項について機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり，各担当から説明の上，審議を行った。

1. 地域連携推進機構非常勤講師の採用について
遠藤部門長及び小島特命准教授から，資料（審議１）に基づき非常勤講師の採用について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承された。

2. 戦略的地域連携推進経費 公募要領について
背戸室長から「地域協働プロジェクト推進経費」について，遠藤部門長及び空閑特命准教授から「地域志向活動トライアル経費」について，資料（審議２）に基づきそれぞれ説明があった。主な意見は以下のとおり。
（地域協働プロジェクト推進経費）
・ 学生を参画させるに当たっては，安全管理や責任の所在の明確化等，教職員とは身分が異なる点を留意した方が良いものと思われる。（嘉目監事）
・ 申請の際の優先順位付けについては，審査の参考になるというメリットと，内部での優劣を付けることが難しい部局があることと部局内での連携の阻害等のデメリットの両方があるということを留意の上，検討いただきたい。（瀬名波教授）

・　頂いた意見を踏まえた上で，地域連携企画室において改めて検討したい。（背戸室長）

（地域志向活動トライアル経費）

・　当該経費の取組に関して，別途検討中の「地域貢献フェア（仮称）」での報告を求めることは可能か。（背戸室長）

・　公募要領に「成果を公表する機会には積極的に参加すること」という文を追記すれば問題ないと思う。（遠藤部門長）

審議の結果，地域協働プロジェクト推進経費については地域連携企画室で再検討を行った上で機構長へ一任することとし，地域志向活動トライアル経費については原案を一部修正の上，了承された。

3.　戦略的地域連携推進経費「地域連携支援体制構築強化経費」の執行計画（案）について

背戸室長から，資料（審議３）に基づき執行計画（案）について説明があった。主な意見は以下のとおり。

・　非公募の経費であることから，恣意的な執行に見られないよう「地域協働萌芽プロジェクト支援」等の経費の取扱いについては留意いただきたい。（瀬名波教授）

審議の結果，原案どおり了承され，役員会の議題へ掛けることとした。

4.　沖縄産学官協働人財育成円卓会議ワーキンググループ設置要項の一部改正について

背戸室長から，資料（審議４）に基づき要項の一部改正について説明があった。

審議の結果，原案どおり了承された。

5.　産学連携知的財産アドバイザーの派遣に関する協定書締結について

金城課長から，資料（審議５）に基づき協定書の締結について説明があった。

審議の結果，原案どおり了承され，役員会の議題へ掛けることとした。

6.　ＲＣＣ事業における機関決定について

遠藤部門長から，資料（審議６）に基づき機関決定について説明があった。主な意見は以下のとおり。

・　全学的な地域連携の所掌機関としての地域連携推進機構が設置される前に，ＲＣＣ事業本部が発足したという経緯がある。現状を踏まえた上で各組織の在り方を整理する必要があるのではないか。（嘉目監事）

・　課題として十分認識している。今回は事項ごとの決定機関を整理したが，各組織，会議体の役割をどのように整理していくか，引き続き検討していきたい。（遠藤部門長）

審議の結果，原案どおり了承された。

7.　各自治体（宜野湾市，西原町，中城村）と琉球大学及び名桜大学による地域における雇用創出・若者定着に係る協定書締結について

遠藤部門長から，資料（審議７）に基づき協定書の締結について説明があった。

審議の結果，原案どおり了承され，役員会の議題へ掛けることとした。

8.　その他

須加原議長から,「平成２９年度プロジェクトシート（４月確認）及び平成２９年度業務実績報告書について」の議題をメールにて審議したい旨の発言があった。

メール会議での審議の結果，原案どおり了承され，社会連携に関する自己点検・評価委員会の議題へ掛けることとした。

＜報告事項＞

議長から，次の６つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため，各担当から報告を行うよう発言があった。

1.　ＩＣＴ機器を活用した遠隔授業による教育効果等検証委員会報告書について

背戸室長から，机上配布資料に基づき報告書について報告があった。

2.　イノベーション創出人材育成事業採択について

事務局から，資料（報告２）に基づき事業の採択について報告があった。

3.　平成３０年度沖縄県「成長分野リーディングプロジェクト創出事業研究委託業務（沖縄の有用生物資源を活用したヒト介入試験モデルの構築)」の継続決定について

事務局から，事業の継続決定について報告があった。

4.　平成３０年度公開講座計画書の修正について

遠藤部門長から，資料（報告４）に基づき計画書の修正について報告があった。

5.　第９８回琉大２１世紀フォーラムの開催について

金城課長から，資料（報告５）に基づきフォーラムについて報告があった。

6.　各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について

各室・部門から，資料（報告６）に基づきそれぞれ報告があった。

7.　その他

背戸室長及び島袋特命准教授，宮里特命准教授から,「沖縄型産業中核人材育成事業」及び「知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業（大学等研究者の学外連携促進)」の公募について説明があり，申請準備を進めている旨，報告があった。